

科目名	マネジメント・ アカウンティング論特講	担当者	マルモリ 丸森 カズヒロ 一寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------------------	-----	-----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講座は、会計情報を中心とした定量情報を利用する「経済性分析による意思決定」と「予算管理と業績評価」のメカニズムと利用方法を理解し、適切な意思決定とマネジメント・コントロールを行うために必要な知識・技能・マナーを修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。 以上の目的を達成することにより、論理的・批判的思考力を中心に、問題発見・解決力、コミュニケーション力、協働力、省察力、世界の現状を理解し説明する能力の獲得を目指す。		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>I. 原価情報と意思決定、II. 投資の意思決定 (短期)、III. 投資の意思決定 (長期) から構成される「経済性分析による意思決定」と、IV. 「予算管理と業績評価」のメカニズムと利用方法を理解し、適切な意思決定とマネジメント・コントロールを行うために必要な知識・技能・マナーを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>i. 経済性分析及び予算管理と業績評価のメカニズムとその利用方法を説明できる。(知識・想起)</p> <p>ii. ケースにおいて上記のメカニズムの当てはめを行うことができる。(知識・解釈)</p> <p>iii. ケースを実際に分析し、適切な意思決定を行うことができる。(技能・コントロール)</p> <p>iv. 上記分析と意思決定の限界を理解し、定性情報にも配慮することができる。(態度・反応)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】(自主研究・レポート作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。 ・manaba folio の掲示板を利用し、受講生同士の協働学修を行う (課題図書等に関する受講生同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等)。 ・図書館、インターネットで自律的に論文を検索して、レポートを作成する。 <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>① 基本教材を熟読し、副教材のショート・ケース (I : 5 本、II : 3 本、III : 5 本、IV : 2 本) の回答を準備して提出し、教員による添削を受けるとともに指摘された事項について理解を深める。(自習) (ディベート) 【SBO i. & ii. & iii.】 【27 時間/レポート 1 本】</p> <p>② レポート課題のケースについて、必要な情報及び分析方法を決定する。(自主研究) 【SBO ii.】 【2 時間/レポート 1 本】</p> <p>③ レポート課題のケースについて分析を行うとともに、その結果に基づいた意思決定を行う。(レポート作成) 【SBO ii. & iii. & iv.】 【3 時間/レポート 1 本】</p> <p>④ manaba folio での掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッションにより、レポートの最終版を完成させる。(ディベート) 【SBO ii. & iii. & iv】 【12 時間/レポート 1 本】</p>		
スケジュール	前半は 6 月末までに一通りの学習を終了させ、「基本教材 1」のレポート課題 1 を 7 月 15 日、レポート課題 2 を 8 月 15 日までに、それぞれ初稿を提出していただき、学事歴で定められた日までに最終稿を提出する。 後半は、11 月中旬までに一通りの学習を終了させ、「基本教材 2」のレポート課題 1 を 11 月 15 日、レポート課題 2 を 12 月 15 日までに、それぞれ初稿を提出していただき、学事歴で定められた日までに最終稿を提出する。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70 %	課題に関係する重要な論点をおさえているか。 結論が明確であるか。 結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。 引用および参照について適切に開示並びに表現しているか。
	観察記録	30 %	活発に質問を行うなど積極的に取り組んだか。 レポートの提出期限を厳守したか。 受講生同士及び教員の指摘事項を真摯に検討したか。 明瞭かつ論理的な説明を心がけているか。
履修者への要望	<p>フィナンシャル・アカウンティング、マーケティング、経営戦略の基本的な知識を習得しているか、あるいは当該科目を履修中であることが望ましいと考えます。計画的かつ学修方法において示した時間を投入して学習できることが、履修要件と考えています。</p> <p>また、実践的な能力を獲得するためには、「手を動かす。」事が不可欠です。副教材のケースについて必要な時間をかけて回答を準備して提出するとともに、疑問点は躊躇することなく教員にメールで質問して理解を確実なものとしてください。また、回答の準備、質問あるいはレポートにおいては「限られた情報を前提に常に意思決定を行う。」という姿勢で臨んでください。</p> <p>なお、履修希望者になるべく早く学修をスタートさせていただくために、履修登録を行うと同時に担当教員 (marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp) にその旨メールにて連絡をお願いいたします。勿論、その後の履修取り消し期間内において取り消しをすることは構いません。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名：千住鎮雄、伏見多美雄 教材名：『新版 経済性工学の基礎』（日本能率協会マネジメントセンター、1994年） ISBN:4-8207-1036-2 3,107円+税
	採算性評価に基づく意思決定に関する諸理論を統合整理し、豊富な事例により自学自習ができるように工夫されており、国内で評価の高いMBAコースの基本テキストとして採用されている。
履修上のポイント	① 「原価情報と意思決定」、②「投資の意思決定（短期）」、という各テーマについてその考え方を理解することにより、実務において「代替案の評価と選択」及び「投資案の評価と選択」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「リライアブル製作所」を分析し、生産管理について経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じてください。 留意点： 「原価情報と意思決定」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「株式会社NBS」を分析し、①全社最適の観点からの意思決定、②分権的組織の問題点、について論じてください。 留意点： 「投資の意思決定（短期）」がテーマです。

基本教材 2	
教材の概要	著者名：千住鎮雄、伏見多美雄 教材名：『新版 経済性工学の基礎』（日本能率協会マネジメントセンター、1994年） ISBN:4-8207-1036-2 3,107円+税
	著者名：ロバート・サイモンズ 教材名：『戦略評価の経営学』（ダイヤモンド社、2003年） ISBN: 978-4478470657 4,644円 戦略を実行するための新たな管理会計として、競争、戦略、組織デザインと統合させた最新の業績評価と統制の手法を紹介している。ハーバード・ビジネス・スクールMBAプログラムの人気科目の教科書を邦訳したものである。
参考図書	著者名：早坂清志 参考図書名：『すぐわかるポケット！ Excel 関数 パーフェクト事典（すぐわかるポケット!）』（アスキー・メディアワークス、2011年）ISBN: 978-4048860666 1,522円
履修上のポイント	③ 「投資の意思決定（長期）」、④「予算管理と業績評価」、という各テーマについてその考え方を理解して、実務において「不確実性下の意思決定」及び「戦略的観点からの予算実績分析と評価」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「レインボー油田」を分析し、経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じて下さい。 留意点： 「投資の意思決定（長期）」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「エレクトリックカンパニー社」を分析し、業績の評価とその根拠について論じてください。 留意点： 「予算管理と業績評価」がテーマです。

基本教材 1

第 1 回	I. 原価情報と意思決定 ① イーストマン・コダック社（売上総利益と貢献利益）
第 2 回	② メトロポリタン・シティ病院（病院のコスト）
第 3 回	③ ヒューレット・パッカード社（近年の製造業における CVP）
第 4 回	④ クラーク製紙株式会社（活動分析）
第 5 回	⑤ ポートランド電力株式会社（2段階方式の ABC）
第 6 回	（リポート課題 1.）⑥ リライアブル製作所（ABC と ABM）の初稿作成
第 7 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成
第 8 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成 最終稿の作成
第 9 回	II. 投資の意思決定（短期） ① イーグルテニスクラブ（埋没原価）
第 10 回	② 個人投資家のあなた（短期投資における独立と排反）
第 11 回	② 個人投資家のあなた（短期投資における独立と排反）
第 12 回	③ 株式会社農創（無資格案の整理）
第 13 回	（リポート課題 2.）④ 株式会社 NBS（複数事業所における複数プロジェクトの評価）の初稿作成
第 14 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成
第 15 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成 最終稿の作成

基本教材 2

第 1 回	III. 投資の意思決定（長期） ① 割引現在価値（NPV 関数）
第 2 回	① 割引現在価値（NPV 関数） ② 現在価値・将来価値・定期支払額
第 3 回	② 現在価値・将来価値・定期支払額
第 4 回	③ 優劣分岐と不確実性下の意思決定
第 5 回	④ NPV と IRR
第 6 回	⑤ ディジション・ツリーとベイジアン決定理論
第 7 回	（リポート課題 1.）⑥ レインボー油田（シジョン・ツリーによる不確実性下の意思決定）の初稿作成
第 8 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成
第 9 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成 最終稿の作成
第 10 回	IV. 予算管理と業績評価 ① シェイドツリー・ファニチャー（戦略的視点からの利益評価）
第 11 回	① シェイドツリー・ファニチャー（戦略的視点からの利益評価）
第 12 回	② 戦略的評価についての分析ノート
第 13 回	（リポート課題 2.）③ エレクトリックカンパニー社（戦略的観点からの予算実績分析と評価）の初稿作成
第 14 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成
第 15 回	教員による指摘事項の理解と修正稿の作成 最終稿の作成